

令和7年度第2回「かごしまの歴史文化講演会」・「貴重資料紹介展」実施要項（案）

1 趣旨

郷土の歴史や人物等に関する質の高い情報を提供するため、郷土に関する専門家による講演を行う。併せて当館所蔵の貴重資料の中から、講演会の内容に関連した資料を展示するとともに、展示内容に関連した図書資料を案内して利用者の生涯学習を支援する。

2 貴重資料紹介展

(1) 日程

令和8年1月16日（金）～令和8年3月1日（日）

(2) 場所

県立図書館 1階玄関ホール

(3) テーマ

『日本近代化への道標 ～薩摩がひらいた知の扉～』

(4) 概要

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産に含まれる「旧集成館」をはじめ、江戸後期から明治初期にかけて鹿児島が推し進めた近代化の歩みを、当館所蔵の貴重資料や映像資料等を通じて紹介する。

(5) 主な展示資料

「重豪公幼少之筆」「琉球人行粧之図」「南島海路略図絵巻」「南山俗語考」「密貿易口永良部島全図」「長崎薩摩藩屋敷図」「島津斉彬肖像」「集成館平面図」「反射炉側面図」「薩摩砲台図」「異人館移築関係」「薩摩辞書」「慶応年間薩藩々費洋行者写真」など

3 かごしまの歴史文化講演会

(1) 日程

令和8年1月24日（土）午後1時25分～午後3時25分

(2) 場所

県立図書館 1階大研修室

(3) 演題

『世界を動かした“薩摩スピリット”
～明治日本の産業革命遺産に込められた未来志向～』

(4) 内容

世界文化遺産登録10周年を記念し、県内に残る構成資産が日本の近代化や重工業発展にどのような役割を果たしたのかを改めて見つめ直し、その歴史的価値と未来への継承の意義を探る。また、近代化の礎を築いた島津重豪・島津斉彬の先進的な施策や時代を動かした決断にも触れ、薩摩の果敢な挑戦と先見性を広く紹介する。

(5) 講師

原口 泉 氏（志学館大学人間関係学部教授）

(6) 定員

180名（無料）